

一般社団法人 福島県作業療法士会
平成29年度 第1回臨時Web理事会抄録

日時：平成29年9月5日（火）18：30～19：30

場所：会津地区：竹田総合病院
郡山地区：太田西ノ内病院
福島地区：栴記念病院

出席者：

理事：長谷川、柴田、木村、田口、佐藤、根田、
今川、松下、青木、岡本（佳）

部員：荒井、日下部

1. 会長挨拶

2. 定足数報告(総務部長)

出席者12名（内理事12名中10名出席）

3. 議題(検討・決議事項)

1) 福島県リハビリテーション専門職団体協議会への活動資金一時立て替えについて(長谷川会長)

【提案内容】

今年度から正式に設立した福島県リハビリテーション専門職団体協議会(福島県理学療法士会、福島県言語聴覚士会、福島県作業療法士会)の研修会等の企画運営を行うに当たって、地域医療介護総合確保基金が当てられるが、基金の交付が年度末以降となることから、当面の活動運営資金について、当福島県作業療法士会が福島県リハビリテーション専門職団体協議会に対して事業運営にかかる活動運営資金を立て替えようとするものである。

なお、この件に関しては福島県リハビリテーション専門職団体協議会側からの立替え申込書等、必要な文書の提出を求め、実施する。

立替期間：9月～資金の交付を受けるまで

立替金額：総額440万円（上限額）

立替方法：総額440万円を分割9月に100万円。以降1ヶ月毎に100万円を上限として当面必要となる額を立替える

【提案理由】

今年度からPT・OT・ST士会合同での、基金を利用した地域包括ケアシステム構築に関する研修会開催などの事業を、福島県リハビリ専門職団体協議会で行うことになった。協議会の活動は基金での活動を目的としており、合計440万円を申請をし、許可されている。具体的な活動に入るにあたり、県からの基金が入金されるまでの間、一時立て替え金としてPT士会、OT士会、ST士会にお願いしなければならない。この事について各団体での協議を進めているところ、3士会当分の案の提示もあったが、各団体の会員数の違いや資金規模の差もあることから案分することが困難であり、今後さらに話し合いを深めて各団体の調整を進めていくには

期間的にも厳しく、予定していた事業実施が困難になる状況である。

そこで、提案内容にも記載した通り当県士会で事業運営にかかるおおよその総額440万円を全て建て替えることとし、3団体による協議会の今年度の運営をより円滑に進められるように、積極的に協力していくことがよいのではないかと考えている。

なお、立替える方法については、初めから総額440万円を全額立替えるのではなく当面の必要となる予算や経費等について確認をしながら、複数回に分けて行った方がよいだろうと考えている。9月に100万円で、それ以降は1ヶ月毎に必要な額を協議会と相談の上、100万円を上限として立替えていき、総額は440万円までとしたい。

根田：先日会議があり、4回ではなく3回150万ずつでお願いしたいと提案があったがいかがか。

長谷川：では、3回分割にする。

⇒承認

2) 地域保健福祉部 認知症アンケートに伴う補正予算について（松下）

【提案内容】

今年度の事業計画において予定していた認知症対策事業への対応として会員への認知症に関する調査実施について、アンケート調査実施することとなっている。このアンケート調査の回収の方法について、当初は電子メールの利用を考えていたが、回収率を上げるためにも、郵送での方法に変更するにあたり、当初予算では見込んでいなかったため郵送にかかる費用について補正予算を申請したい。

補正予算額47,000円 別紙『地域保健福祉部 認知症アンケート実施に伴う補正予算』

【提案理由】

本件については一昨年からの継続した事業として今年度引き続き実施している。当県士会では認知症の対応について、一昨年より担当する委員会を設置し、実務的な研修会などを企画実施してきた。また、地域保健福祉部については更に県士会会員の人員的な状況等、県士会組織における現状を把握するために必要なアンケート調査の実施について検討を積み上げてきたところである。

今回はようやく、調査の実施が出来るようになったところで、より回収率を高めるためにも、アンケート依頼を電子メール等の連絡網を利用するのではなく、直接会員の手元に届きやすい郵送で行うことが必要だと考えた。返信についてはファックス、電子メール等、会員それぞれで返信しやすい方法で行えるようにしたいと考えている。

⇒承認

3) その他

健康長寿いきいきフェスティバルについて、予算を当初2万としていたが予想より経費が掛かるということで、5万円の補正を行いたい。予算としては広報部の予算補正ということで行いたい。

⇒承認

4. その他

地域ケア会議視察について

⇒ST士会より8～10名くらい参加可能と連絡があった。当士会としては8名にこだわらず、2～3名でもよいのは。県のほうには1～2回と話しているので、基本2回(1回5人程度)くらいで収まるようにする。

5. 副会長挨拶

以上